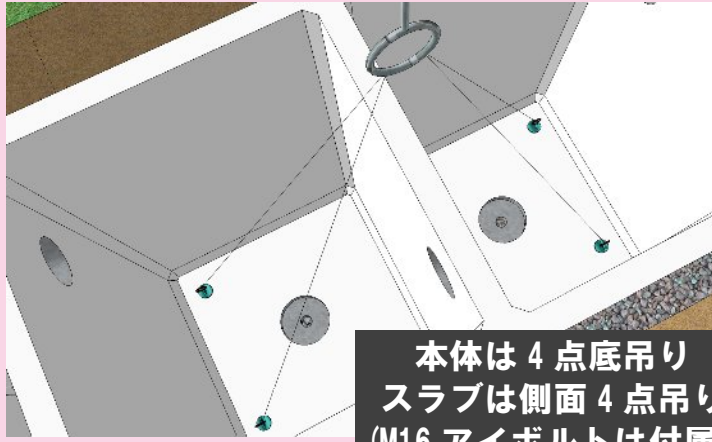
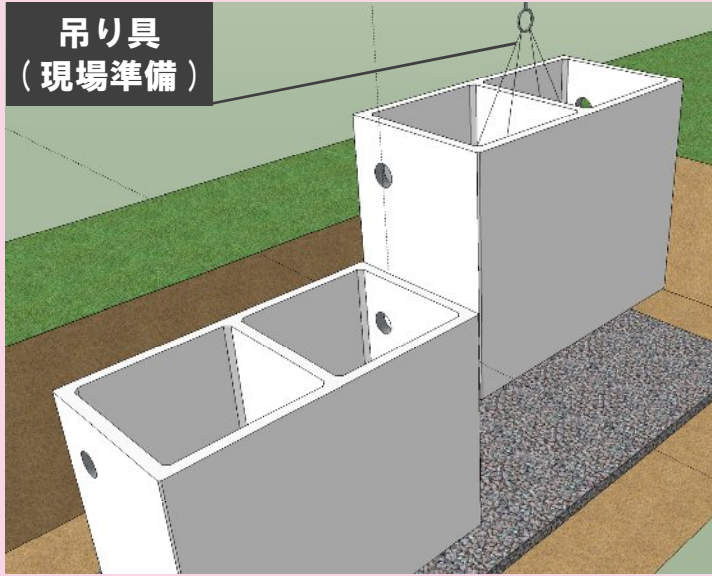


OK 式油水分離槽 OKYS 施工手順

1 掘削→設置

- a. 本体の外形寸法 W・H・L を確認します。
- b. GL ~管位置・土被りを確認します。
- c. 碎石・ベースコンクリート・モルタル調整分を考慮し多少深めに掘削して下さい。

吊り具
(現場準備)



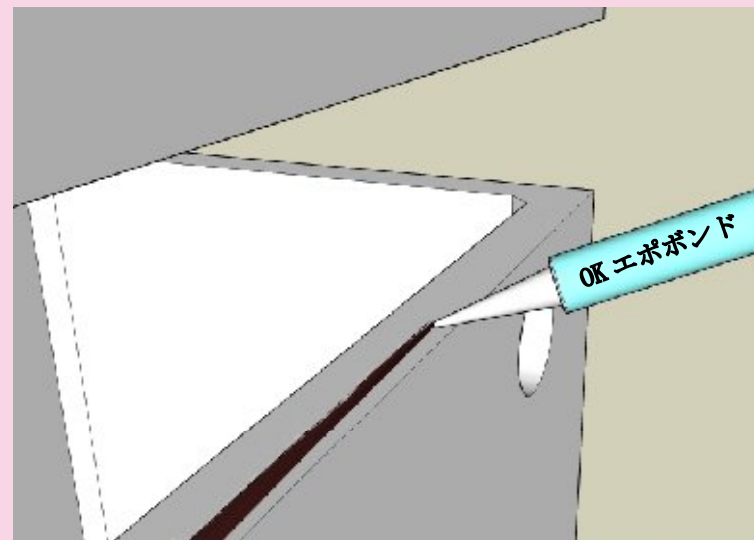
本体は 4 点底吊り
スラブは側面 4 点吊り
(M16 アイボルトは付属)

point

2 スラブ接着処理

- a. 現場にてコーキングガンを用意して下さい。
- b. 接着面を掃除し、ごみ等を除去。
※ 気温 5℃ 以下の場合・製品が濡れている場合は施工を中止して下さい。
(漏水の原因となります)
- c. 本体を据付後、接合部に OK エポボンドを厚さ 10mm 程度で塗布してから上部スラブを接続して下さい。

気温により異なりますが、約 24 時間で硬化します。

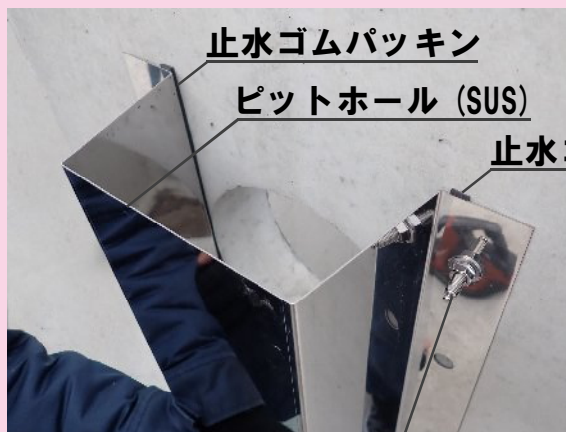


point メンテナンス時の取外しを考慮し
ボルトは強く締めない方が良い
(水圧が強い場合は除く)

4 ピットホール用止水ゴムパッキンの取付け・オールアンカーの打込み方法

- a. 止水ゴムパッキンは、油を貯めるのに欠かせない重要な部材です。隙間がないよう取付けて下さい。
- b. アンカー取付に関しては、別紙詳細図がありますので写真のみになります。

point



止水ゴムパッキン

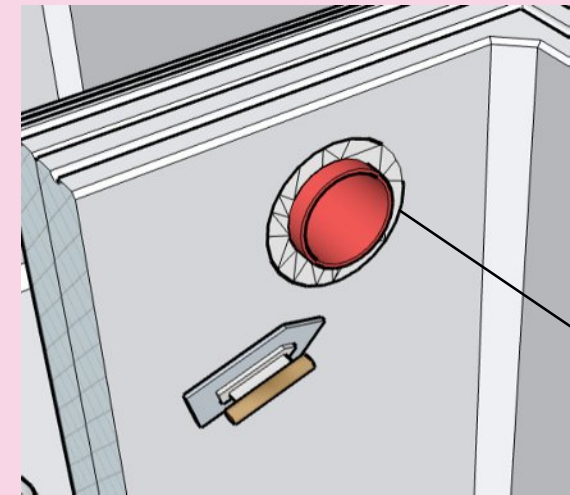


ハンマーで打込むと
アンカーが広がり
固定できます。

オールアンカー (SUS) ※M8-L50

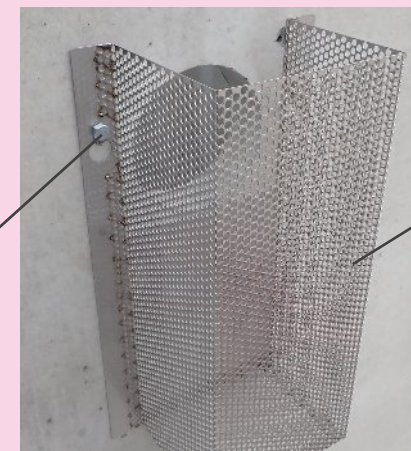
3 管の接続→部材の取付

- a. 本体の穴開口の連結部は、継ぎ目からの漏水を防ぐためにも管の接続が必要です。
- b. 据付が完了したら管を壁厚より長めにカットし隙間へモルタルを埋込んで下さい。
※ 必要により OK エポボンドでコーキングする場合があります。



モルタル充填

- c. 部材は、別途現場にてアンカーを打込み取付けて下さい。
※ アンカーの位置は構造図面を参考願います



ダストトラップ (SUS)
流入側取付

ピットホール (SUS)
流出側取付



マーキング